

前回会議（5月15日開催）における主な意見

**原子核物理学の新たな展開について**

- Fundamental Quantum Scienceと、EICの測定器、加速器への貢献の関係性を明確にする必要がある。
- 原子核研究を推進することが、量子コンピューターの発展にも資するとのことだが、もう少し丁寧な説明が必要。
- 核融合とかフュージョンエネルギー研究にも資するとのことだが、原子核の知識を応用できるところはどのようなところか。
- 原子核分野と他分野との連携、そのような計画に若手研究者が携われることの意義はすごく大きいと思うが、日本全体の教育・研究全体のマネジメントをどのような体制で行うのか

**EIC計画について**

- 測定器に関する金銭的・人的・技術的な貢献など、日本が期待されていることは何か。
- 前身の計画であるRHICで分からなかった部分で、EIC計画を推進することでクリアになる点はどこか。
- 本計画に参画するに当たっては、日本へのリターンという視点も重要かと思うが、EICの中で、日本主導で検出器を開発すれば日本が物理学の成果も取れるものなのか。
- EICでは、実験と理論が一緒に進めていくことが非常に大事だと思うので、理論も一緒にやれるような若手育成の枠組みを検討してほしい。
- 総コストが、17～28億米ドルと幅があるが、どのような理由か。